

クミアイ化学は、現在の静岡市清水区で柑橘同業組合が農薬の製造をしたことを事業の始めとし、1949年に設立されました。以来、世界の農業の発展に貢献し、安全・安心な食料の安定生産を支えるため、安全で効果的な農薬の研究開発と普及に力を注いでいます。70年以上の歴史の中で、農業事業で培ったノウハウは他分野にも展開しており、現在では世界の食を支える「農業及び農業関連事業」と、多彩なシーンで生活の質向上に寄与する「化成品事業」の2つを軸に事業を進めています。

農薬の必要性

当社コーポレートサイト「よくわかる！ 農薬のお話」では、農業について分かりやすく解説しています。  
<https://www.kumiai-chem.co.jp/lp/>



世界の人口は今後も増加し、2050年には100億人に迫ると予測されています。その一方で、農地拡大には森林破壊や水資源の制約など多くの環境問題を伴い、拡大余地には限界があります。また、日本を含む先進国では農業従事者の減少と高齢化が進行しており、労働力や作業時間の制約が一層厳しくなっています。

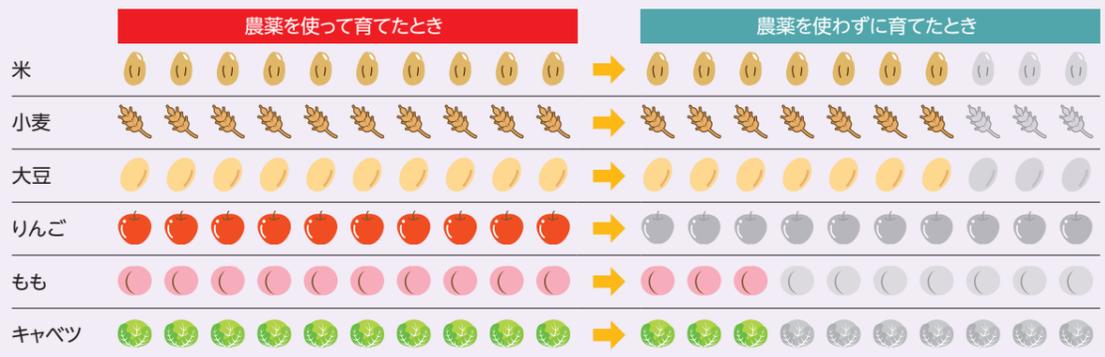
こうした状況下では「限られた農地・人手・時間」でいかに安定的かつ効率的に作物を生産するかが、今後ますます重要な課題になります。



農薬は、病害虫や雑草といった生産を阻害する要因から作物を保護することで、収量と品質を維持・向上させる役割を果たします。適切に使用された農薬は、作物の成長を妨げるリスクを低減し、収穫量の安定や品質向上に寄与します(社)日本植物防疫協会のデータでは、農薬未使用時にイネで約24%、リンゴで約97%の収量減が報告されています)。さらに、農薬の活用は農作業の省力化にも直結し、少ない人手での作業遂行や機械化・省力化技術との併用により、持続可能な生産体制の構築を支援します。

農薬を「適切な種類の選択」「用量と使用タイミングの遵守」「安全管理」の下で使用することは、環境への影響を最小限に抑えつつ、食の安全と安定供給を実現する重要な手段となります。

農薬使用の有無による収量の差

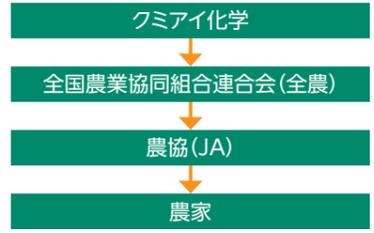
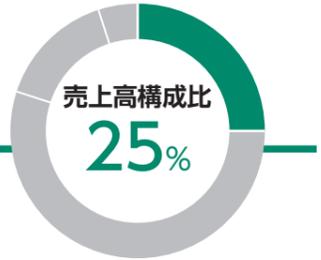


農薬及び農業関連事業 国内

当社では、地域ごとに異なる市場のニーズに細やかに応えるため、除草剤・殺菌剤・殺虫剤など数百種類の製品を取りそろえています。さらに、専門知識を有する販売員・技術普及員を全国各地へ配置し、地域に密着した販売、普及活動を行っており、現地に適した農薬の提案やアフターフォローを行っています。

自社で開発・製造した製品は、全国農業協同組合連合会(全農)に販売しており、全国各地の農協(JA)を通して生産者に製品を提供しています。加えて、他の農薬メーカーに自社原体(有効成分)や製品を販売することで、売上・利益の最大化を図っています。

また、当社グループでは農耕地向け製品だけでなく、ゴルフ場や高速道路、鉄道といった非農耕地向け製品の開発から販売までも行っています。



2025年10月期売上高

**424億円**

水稲用初・中期一発処理除草剤  
国内シェア

**No.1**

※(公財)日本植物調節剤研究協会資料より当社算出

省力化製剤  
豆つぶ®剤の普及面積

**国内128千ha**

事業の特徴

- 販路・販売時期** 製剤化し付加価値を高めた最終製品は、全農(系統ルート)を通じて生産者に提供。当社の主力製品は日本の水稲作付け時期に合わせて出荷するため、4月頃には大部分(年間計画の約80%)の販売が完了。
- 他農薬メーカーへの販売** 他農薬メーカーにも自社原体や製品を販売し、売上・利益の最大化を図っている。
- 販売体制** 専門知識を有する販売員・技術普及員を全国に配置し、現地に適した農薬の提案や販売後のアフターフォローを行う。

主な製品・サービス

国内シェアNo.1 水稲用初・中期一発処理除草剤

水稲栽培における安定的な収量確保には、雑草防除が非常に重要です。当社はこれまで、作物や環境、生物には影響が少なく効果的に雑草を防除する除草剤を数多く生み出してきました。中でも、効果の持続期間が長く生産者からの支持が高い「初・中期一発処理除草剤」分野では、自社原体を含む効果の高い混合剤を複数販売しており、5年連続で国内シェアNo.1です。



省力化製剤 豆つぶ®剤

豆つぶ®剤は当社が開発した水稲用の省力化製剤です。通常の粒剤は大きさが0.8~1.2ミリメートルなのに対し、豆つぶ®剤は3~8ミリメートルで、水面を浮遊しながら有効成分が水田全体に自己拡散するのが特長です。水田に入らなくても散布が可能で、さまざまな散布方法で使用できる豆つぶ®剤は、省力化・簡便化が可能であり、持続可能な農業に欠かせない存在となっています。



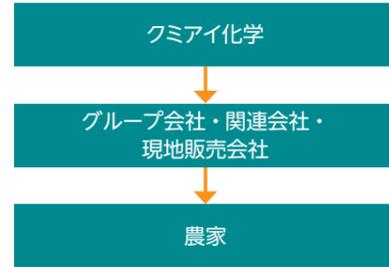
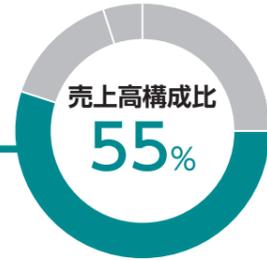
難防除雑草対策剤 ソリスト®

ゴルフ場における最大の問題雑草であるスズメノカタビラに高い効果を示すのがソリスト®です。ゴルフ場の芝の状態を良好に保ち、プレーヤーの満足度向上に寄与しています。



**農薬及び農業関連事業 海外**

海外事業では、世界50以上の国々に向けて自社開発品の販売を行っています。グループ会社・関連会社や各市場で強力な販売ネットワークを持つ販売会社との協働で生産者への販売を行っています。当社グループが販売した原体(有効成分)は、販売会社で製品化された後、現地の小売店や農家に販売されます。単剤だけでなく、販売会社保有の原体など他の成分を組み合わせた混合剤の開発・販売も行っています。また、当社の独自技術を活かした製品も販売会社経由で販売しており、他社製品との差別化による付加価値の向上を図っています。販売面に関しては、当社グループの社員が実際に現地に出向いて調査を行い、その地域に合った効果的な使用法の提案を行うなど、顧客のニーズを的確に捉え、市場の開拓につなげています。



2025年10月期売上高 <b>933</b> 億円	アクシーブ®成長率 (CAGR) <b>21%</b> (2013~2025年度)	グローバル展開(販売国数) <b>50</b> カ国以上
-------------------------------	--	---------------------------------

事業の特徴

- ① **販路** > グループ会社・関連会社や各市場で強力な販売ネットワークを持つ販売会社との協働で生産者への販売を行う。当社グループが販売した原体は、販売会社で製品化され、現地の小売店や農家に販売される。
- ② **混合剤の開発** > 自社の原体と、販売会社保有の原体など他の成分を組み合わせた混合剤の開発・販売も行う。
- ③ **海外売上高比率** > 2025年度実績69%(農薬及び農業関連事業)、アクシーブ®の販売維持により海外売上高比率は高い比率を維持。

主な製品・サービス

世界の農業を支える **アクシーブ®**

アクシーブ®は世界の主要作物に使用できる畑作用除草剤です。近年、世界的に問題となっている除草剤抵抗性雑草に対して高い効果を示す対策剤として世界各国で広く受け入れられています。2011年に販売を開始し、現在では海外の農作物の生産現場で「なくてはならない製品」としての地位を確立しています。



新たな市場へ **エフィーダ®**

日本および韓国で主に水稲用として販売している除草剤エフィーダ®は、除草効果と作物への安全性が高く、米国においてValent社との共同開発をスタートさせています。今後とも適用国の拡大によりエフィーダ®の最大化を図ります。



**化成品事業**

当社グループでは、農業事業で培った高い有機合成の技術力を応用して、生活基盤を支えるさまざまな分野で幅広い事業を展開しています。安全で豊かな生活のためのインフラや先進技術などに活用される化成品の開発・供給を通じて、循環型社会の実現に貢献しています。



2025年10月期売上高  
**251**億円

4つの小セグメント

- ① **塩素化事業** > 農薬、医薬品中間体および樹脂の原料となるクロロトルエン、クロロキシレン系化学品
- ② **精密化学品事業** > 高耐熱樹脂の原料となるビスマレイミド(BMI)類、ウレタン関連製品、受託製造など
- ③ **産業用薬品事業** > 医療機器の消毒剤原料、ウエットティッシュや温泉消毒に使用される環境衛生剤、トイレトペーパーなどの製造工程で使用される剥離・コーティング剤など
- ④ **発泡スチロール事業** > 農産物・水産物や電化製品の梱包材、家電製品パーツ、建築素材、地盤沈下対策など

半導体分野での成長加速

高速通信化やAIに代表されるデジタル技術が急速に進化し、自動運転の実用化が見込まれるなど生活環境も著しく変化してきています。デジタル社会を根幹から支える半導体分野の世界市場規模は2025年には前年比22.5%増の7,722億ドルに到達する見通しです。2026年も2桁成長が見込まれ、新たな成長フェーズが始まりつつあります。この高まる需要を捉えるべく、電子材料分野をはじめとする成長分野への事業展開を推し進めていきます。

主な製品・サービス

**トピック1 硫化カルボニル(COS)ガス**

農業中間体のCOSは、半導体メモリ(3D NAND\*)製造に用いるエッチングガスとして使用されることから、半導体向けCOSガスの開発を進めてきました。2025年に半導体グレードの高純度COSガスを製品化することに成功し、本格販売を開始しました。

\*フラッシュメモリの一種。メモリセルを垂直方向に積層することで、大容量化を実現。



**トピック2 ビスマレイミド(BMI)類**

電子材料や複合材料などに使用される樹脂に、耐熱性、強靱性を付与するために用いられるBMI類は、生成AIサーバー向け積層板などで需要が拡大しています。2025年5月にはグループ会社のケイ・アイ化成(株)BMI類の生産も可能なマルチプラントが完成しました。生産体制を強化し、高まる需要を取り込みます。

